ラトビアからのレジデンスアーティスト

アルニス・マルティネリ Arnis Martinelli



ラトビア美術アカデミー修士課程修了。ラトビア国内各地で個展。ヨーロッパ各地で発表。主に神話を題材としつつ、現代における解釈をのびやかに描いた絵画作品を制作。そのほか、グラフィックデザインによる仕事や、ピアニスト、作曲家として、音楽作品も手掛けるなど、マルチに活動。

イェヴァ・マウリテ Ieva Maurite



ラトビア、リーガ出身。ラトビア美術アカデミー修士号取得。ラトビア国内での個展の他、ヨーロッパ各国で展覧会やレジデンシーに参加。2026年には藤沢今昔・まちなかアートめぐり2026に参加。繊細で洗練されたミニマリスティックな線描による絵画作品で人間心理、自然の在りようを表す。また児童書の挿絵なども数多く手掛ける。

「海と風と土と」（初参加の新人二人展）

Fuyue



風 未明 kaze-mimey



「海と風と土と」

海と風と土が育む湘南の風景と、その土地に根づく営みに想いを重ねた展示である。風土という場所にそっと寄り添い、このまちを愛する私たちだからこそ見つめられる景色や記憶を、それぞれの表現を通して静かに紡ぐ。

主催：藤沢今昔まちなかアート実行委員会

共催：公益社団法人藤沢市観光協会、湘南藤沢文化ネットワーク

後援：駐日ラトビア共和国大使館、藤沢市、藤沢商工会議所、神奈川新聞社

助成：神奈川県文化芸術活動団体事業補助金採択事業

協賛：湘南教育文化研究所、トキ・アートスペース、株式会社ソフトマシーン、株式会社内田商店、田島株式会社、
株式会社福田屋、関次商店パンの蔵 風土

協力：東海大学工学部小沢朝江研究室、NPO法人藤沢グリーンスタッフの会、Ligeht Brothers

会期：10月17,18,24,25,31,11月1,7,8,14,15日（土,日曜10日間）10時30分～16時（パンの蔵のみ日月火を除く営業時間内）

お問合せ

E-mail：fsmuse0911@yahoo.co.jp

Tel：090-1212-4415（伊東）

https://f-artkonjaku2026.tumblr.com/

※状況により予定を変更、中止する場合がございます。最新情報はSNSをご確認ください

藤沢今昔・まちなかアートめぐりは今年の開催で、活動開始の2010年から数えて17回目となります。ここ数年来のラトビアのアーティストとの交流を今年も継続、2名を招聘します。また、国内作家では藤沢出身の新進若手作家2名が加わります。会場は国登録有形文化財を含めた複数の歴史的建造物と、斬新なオフィス空間が併設された建物など、多様な空間での展開が期待されます。

それぞれそこかしこの「熾火」

「熾火（おきび）」とは、燃え続けた薪が炭となり時を経て、表立って見える炎はないが、内部で高温の燃焼が保たれている状態。食物調理に用いると、食材にじっくり熱を通すことで、滋味豊かに仕上げる効果がある。人心に置き換えると、表面には視得ない強い思いや願い、感情や情熱の例えとされる。今般、世情は険しく、私たちはどこか不明瞭な切迫感や、焦燥感に煽られる日々を漂っている。それでも、そうしたなかでも、ひとつひとつの「熾火」は止めどなく溢れかえる情報の隙間や、過剰な演出のきらびやかな光の影で燃え続けている。それは時には燻って見えるだけのごくささやかな火であるかもしれない。その種火を絶やすことなく、先を見据えて急がば回れでこつこつ、じんわりと、探究や研鑽を積むことに燃やし続けるか？あるいは手っ取り早く大きな力や富を求める、あるいは目先の満足を得るための火種として、それを効率の良い着火剤に移すのか？心の「熾火」は生きる原動力であり、どこかへ歩きだす時のひとつ火として、ひとりひとりに宿っている。その必要欠くべからざる熱の源の活かし方が私たちに問われている。

パンの蔵 風土（関次商店）
営業時間 8:00～15:00【焼き切れ次第閉店】
定休日 日曜・月曜・火曜
TEL 090-2147-6314

酒類問屋
田島株式会社

創業明治二十年 節句人形問屋
福田屋人形店
藤沢本店 藤沢市本町1-3-29
TEL 0466-23-3131
ホームページ www.n-fukudaya.co.jp





藤沢・今昔
まちなかアートめぐり
2026

それぞれ
そこかしこの
「熾火」

10月 17, 18, 24, 25, 31,

11月 1, 7, 8, 14, 15（土,日曜10日間）

10時 30分 ～ 16時（パンの蔵のみ日月火を除く営業時間内）

旧東海道藤沢宿の歴史的建造物にて展示公開（詳細はMAP面）

神奈川文化プログラム
VAC CUL マカル



会場マップ



❶旧鎌田商店

伊東 直昭 Itoh Naoaki
カトシュ katOsh
武井 隼人 Takei Hayato

❹旧稲元屋呉服店

佐々木 薫 Sasaki Kaoru
中西 晴世 Nakanishi Haruyo

❷関次商店パンの蔵・風土

「海と風と土と」
（初参加の新人二人展）
Fuyue
風 未明 kaze-mimey
（月火を除く営業時間内）

❺旧桔梗屋

ASADA
オノ・ヨシヒロ Ono Yoshihiro
坪井 美保 Tsuboi Miho

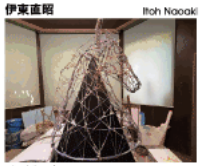
❸内田商店社屋エントランス

ラトビアからの
レジデンスアーティスト
アルニス・マルティネリ
Arnis Martinelli
イエヴァ・マウリテ
Ieva Maurite

❻ふじさわ宿交流館

活動資料展示
会期中 月曜日を除く
9:00~17:00

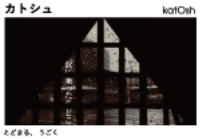
伊東直昭 Itoh Naoaki



丙午・基底馬・竜馬
（ヒノエウマ・サイオウカバウマ・カマドウマ）

「今年の干支である丙午（ひのえうま）の年には、かつては迷信から出生減となる奇妙な社会現象があったが、流石に今年はその影響は見られないのだそうな。世界中、珍でもないことの方が多いようだがやはり「人間万事塞翁馬（じんかんばんじさいおうがうま）」なのか？「人間」は随分と変わったようだが、「罹馬（カマドウマ）」の嫌われ様は別に寄もないのにどうにも理不尽。

カトシュ katOsh



とどまる、うごく

何かしらのアルゴリズムやルールを使った作品を考えてます。

武井隼人 Takei Hayato



オトシモノ

藤沢市出身在住、多摩美術大学卒業。
鎌倉・藤沢を拠点に活動しています。
今年度も参加でき、光栄です。
よろしくお願い致します。

佐々木 薫 Sasaki Kaoru

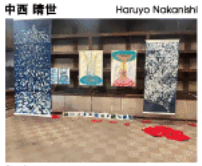


ペドヴァレの庭

旧稲元屋の庭で見つけた、植生と小さな生き物たちの物語。
そんなことを題材にしてみる。

秋日和、金色に輝くこの庭にいられるのが楽しみです。

中西 晴世 Haruyo Nakanishi



「地の風」

自然の流れをイメージし、生命の循環や展示する場所にまつわる題材をテーマに制作している。版画・絵画など平面作品、布、脚などの素材も取り入れたインスタレーションによって空間構成している

ASADA



大きな葉の木の下デモ

またしても藤沢で泳ごう
できうるかぎりのはだかで
できうるかぎりの自由にむかって

オノ・ヨシヒロ Ono Yoshihiro



静寂の底てに（部分）

終わりの見えない世界各地での紛争。激しい戦果の轟音、そして理不尽に奪われた命。
本作品の放つ無数の色彩と対峙するとき、そこに流れる冷たい静寂は、未来へ向かう確かな祈りへと変わっていく。

坪井 美保 Tsuboi Miho



みえかくれするもの

何かを守り、包むもの、生き物のために呼吸している。蔵と簾（まゆ）は違うが似ている。蔵が人を寄せつけるのは永年の風雪に耐えた強さだけではない。現代に失われがちな柔らかい空間に着目したい。

活動資料展示



場所：ふじさわ宿交流館
会期中 月曜日を除く9:00~17:00

活用している藤沢宿の歴史的建造物の紹介を主として、ラトビアなど海外作家との交流と各地の歴史遺産活用の事例などを紹介。